



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### Official TEST Report

### 2019/3/4～5 SUZUKA 1<sup>st</sup> Official test

ホンダとトヨタ、鈴鹿サーキットを運営するモビリティランドの 3 社が共催となり、内容もさらに充実した「モースポフェス 2019 SUZUKA～モータースポーツファン感謝デー～」は、3月 2～3 日に開催され、シーズンスタートを待ちわびた多くのファンで大盛況となった。

モースポフェスでのテストランやデモレースを含め、鈴鹿で連続 4 日間という開幕前の貴重なテスト機会となった第 1 回目公式テスト。DOCOMO TEAM DANDELION RACING は、昨年 SF チャンピオンの山本尚貴選手と、ヨーロッパで FIA F2 選手権を戦い、大きく成長を遂げて日本に戻ってきた福住仁嶺選手をチームに迎え、カーナンバーを「1」と「5」に変更。強力な布陣で 2019 シーズンに臨む。

公式テスト 1 日目、昨日から降り続く雨で路面はウェットコンディションながら、チームは積極的に走り込みを行い、SF19 でのウェットタイヤに関する情報を収集した。午後には雨も止み、路面は回復方向に。開始 30 分を迎える頃にはスリックタイヤを装着できるコンディションとなった。午前中のウェットコンディションで他を圧倒するタイムでトップタイムを記録した山本選手だが、午後はタイムを追いかけることなく、SF19 の特性や新たなセットアップなどメニューを消化した。

公式テスト 2 日目は好天に恵まれ、両ドライバーは、セットアップやスタート練習、ロングランなど、テストメニューを精力的に消化。午前のセッションを、福住選手はトップで、山本選手は 2 番手のワンツー独占で終えたチームは、午後のセッションは、決勝を見据えたテストに内容に集中しデータを収集。良い部分、悪い部分、新たな課題も得、有意義なテストを終えた。

1 : 山本尚貴 選手 総合 5 位 (ホンダ勢 3 位)

DOCOMO TEAM DANDELION RACING との初めての SF19 のテストは、2 日間を通して、レースシミュレーションも予選モードも様々なメニューを消化することが出来ました。チームはプロフェッショナルで、信頼関係も築けました。この良い状況をベースに、またテスト結果をチームとともに解析して、第 2 回公式テスト富士に向けて準備します。

5 : 福住仁嶺 選手 総合 2 位 (ホンダ勢 2 位)

SF19 のシェイクダウンから、まずは車に慣れることを重点に進めていきました。

2 日目の午前は首位タイムを刻むことができましたし、午後は決勝モードに集中して有意義なテストができました。今までわからなかった部分が理解でき、ダンディライアンの総合力も予想通りでした。今シーズンがとても楽しみです。